



2023年3月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (連結)

2022年11月7日

上場会社名 帝人株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3401 URL <https://www.teijin.co.jp/>
 代表者 代表取締役社長執行役員 内川 哲茂
 問合せ先責任者 IR部長 吉富 友也 TEL (03) 3506-4395
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	510,453	12.6	14,231	△54.8	19,986	△38.7	7,575	△64.9
2022年3月期第2四半期	453,385	15.0	31,461	1.2	32,621	8.0	21,570	34.8

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 23,956百万円(△8.9%) 2022年3月期第2四半期 26,282百万円(△11.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	39.41	39.34
2022年3月期第2四半期	112.34	106.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,305,090	482,854	35.1
2022年3月期	1,207,583	464,811	36.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 457,469百万円 2022年3月期 439,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	27.50	—	27.50	55.00
2023年3月期	—	27.50	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	12.50	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,050,000	13.4	25,000	△43.4	29,000	△41.6	16,000	△30.9	83.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 連結業績予想につきましては、本日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」及び「2022年度 第2四半期決算 及び 業績見通し説明資料」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社 （社名） — 除外 — 社 （社名） —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期2Q	197,953,707株	2022年3月期	197,953,707株
2023年3月期2Q	5,662,490株	2022年3月期	5,834,283株
2023年3月期2Q	192,194,742株	2022年3月期2Q	192,012,610株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

(1) 四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しています。

(2) 四半期決算説明会内容は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 2
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7
(追加情報)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 8

四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	134,480	159,082
受取手形、売掛金及び契約資産	196,815	197,858
商品及び製品	103,399	128,009
仕掛品	13,680	15,918
原材料及び貯蔵品	47,541	58,754
その他	76,470	73,729
貸倒引当金	△389	△260
流動資産合計	571,996	633,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	73,378	78,576
機械装置及び運搬具(純額)	116,984	125,082
その他(純額)	125,151	135,737
有形固定資産合計	315,514	339,396
無形固定資産		
のれん	29,920	31,449
その他	160,832	155,624
無形固定資産合計	190,752	187,073
投資その他の資産		
投資有価証券	85,014	87,108
その他	45,554	59,984
貸倒引当金	△1,247	△1,558
投資その他の資産合計	129,321	145,533
固定資産合計	635,586	672,002
資産合計	1,207,583	1,305,090

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	101,183	112,304
短期借入金	110,524	148,471
1年内返済予定の長期借入金	39,185	48,319
未払法人税等	7,186	4,906
その他	93,677	96,314
流動負債合計	351,756	410,314
固定負債		
社債	105,000	105,000
長期借入金	215,972	227,441
退職給付に係る負債	37,076	37,678
資産除去債務	1,257	1,261
その他	31,711	40,542
固定負債合計	391,016	411,922
負債合計	742,772	822,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	71,833	71,833
資本剰余金	103,757	103,755
利益剰余金	242,332	244,413
自己株式	△12,729	△12,353
株主資本合計	405,192	407,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,192	20,364
繰延ヘッジ損益	△80	△3,275
為替換算調整勘定	13,549	32,638
退職給付に係る調整累計額	△272	94
その他の包括利益累計額合計	34,388	49,821
新株予約権	803	727
非支配株主持分	24,429	24,658
純資産合計	464,811	482,854
負債純資産合計	1,207,583	1,305,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	453,385	510,453
売上原価	313,768	378,910
売上総利益	139,617	131,542
販売費及び一般管理費	108,155	117,312
営業利益	31,461	14,231
営業外収益		
受取利息	222	453
受取配当金	639	771
持分法による投資利益	2,936	2,555
デリバティブ評価益	796	11,414
投資事業組合運用益	—	631
雑収入	487	375
営業外収益合計	5,080	16,200
営業外費用		
支払利息	1,517	2,736
為替差損	391	6,642
デリバティブ評価損	247	457
投資事業組合運用損	444	—
雑損失	1,322	610
営業外費用合計	3,921	10,445
経常利益	32,621	19,986
特別利益		
固定資産売却益	47	14
投資有価証券売却益	3,975	1,249
その他	165	0
特別利益合計	4,188	1,263
特別損失		
固定資産除売却損	910	650
投資有価証券評価損	—	282
減損損失	1,649	140
事業構造改善費用	106	24
新型コロナウイルス感染症による損失	—	319
その他	77	72
特別損失合計	2,741	1,487
税金等調整前四半期純利益	34,067	19,762
法人税等	11,178	11,015
四半期純利益	22,890	8,747
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,319	1,172
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,570	7,575

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	22,890	8,747
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	951	△1,041
繰延ヘッジ損益	△464	△3,195
為替換算調整勘定	2,112	17,874
退職給付に係る調整額	157	319
持分法適用会社に対する持分相当額	637	1,253
その他の包括利益合計	3,393	15,210
四半期包括利益	26,282	23,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,118	23,008
非支配株主に係る四半期包括利益	1,164	948

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	34,067	19,762
減価償却費及びその他の償却費	33,601	37,229
減損損失	1,649	140
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△35	485
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	22,822	△27
未払金の増減額 (△は減少)	1,629	△2,622
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	△2,330	—
受取利息及び受取配当金	△861	△1,224
支払利息	1,517	2,736
持分法による投資損益 (△は益)	△2,936	△2,555
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,975	△1,247
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	282
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,530	9,872
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12,472	△29,475
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,968	2,435
その他	△23,410	5,817
小計	41,705	41,609
利息及び配当金の受取額	2,355	3,906
利息の支払額	△1,428	△2,717
法人税等の支払額	△8,767	△10,665
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,865	32,132
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,368	△26,736
有形固定資産の売却による収入	119	50
無形固定資産の取得による支出	△136,537	△1,364
投資有価証券の取得による支出	△1,991	△1,212
投資有価証券の売却による収入	6,757	1,825
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	109	△512
その他	△643	△1,866
投資活動によるキャッシュ・フロー	△163,554	△29,815
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	23,818	26,853
社債の発行による収入	90,000	—
長期借入れによる収入	1,034	—
長期借入金の返済による支出	△13,534	△1,643
自己株式の取得による支出	△4	△2
配当金の支払額	△4,799	△5,283
非支配株主への配当金の支払額	△654	△901
その他	△1,453	△721
財務活動によるキャッシュ・フロー	94,408	18,303
現金及び現金同等物に係る換算差額	622	3,532
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△34,659	24,153
現金及び現金同等物の期首残高	166,455	130,696
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	428
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	5	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	131,801	155,278

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしています。

なお、この会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しています。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っています。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	マテリアル	ヘルスケア	繊維・製品	IT	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	190,820	86,940	133,513	27,293	438,565	14,820	453,385
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,772	14	1,473	3,248	11,507	1,867	13,374
計	197,593	86,953	134,986	30,540	450,072	16,687	466,759
セグメント利益又は損失(△)	3,278	24,192	3,575	4,782	35,827	△1,158	34,669

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、埋込型医療機器事業、再生医療事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比べ、「ヘルスケア」セグメントの資産金額は、155,455百万円増加しています。これは主に第1四半期連結会計期間において、当社の子会社である帝人ファーマ(株)が武田薬品工業(株)と2021年2月26日に締結した2型糖尿病治療剤の資産譲渡契約に基づく販売移管を完了したことによるものです。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	35,827
「その他」の区分の損失(△)	△1,158
セグメント間の取引消去	△484
全社費用(注)	△2,724
四半期連結損益計算書の営業利益	31,461

(注) 全社費用は配賦不能営業費用であり、その主なものは本社管理部門に係る費用です。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「マテリアル」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間に1,231百万円の減損損失を計上しています。

(のれんの金額の重要な変動)

前連結会計年度において、CSP Victall (Tangshan) Structural Composites Co., Ltd. (現 Teijin Automotive Technologies (Tangshan) Co., Ltd.) の出資持分を追加取得し連結子会社化したことにより、暫定的な会計処理を行っていましたが、第1四半期連結会計期間に確定しています。これにより、「マテリアル」セグメントにおけるのれんの金額が減少しています。

前連結会計年度において、(株)ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング(現(株)ジャパン・ティッシュエンジニアリング)の株式を取得し連結子会社化したことにより、暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間に確定しています。これにより、「その他」セグメントにおけるのれんの金額が減少しています。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	マテリアル	ヘルスケア	繊維・製品	IT	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	232,558	78,728	158,425	27,254	496,965	13,487	510,453
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,459	2	1,086	3,230	9,778	2,167	11,945
計	238,017	78,731	159,511	30,485	506,744	15,654	522,398
セグメント利益又は損失(△)	△4,450	14,650	5,282	3,476	18,959	△1,940	17,019

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、埋込型医療機器事業、再生医療事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	18,959
「その他」の区分の損失(△)	△1,940
セグメント間の取引消去	△25
全社費用(注)	△2,763
四半期連結損益計算書の営業利益	14,231

(注) 全社費用は配賦不能営業費用であり、その主なものは本社管理部門に係る費用です。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、帝人ナカシマメディカル(株)及び帝人メディカルテクノロジー(株)を中心に展開している埋込型医療機器事業については、全社的・長期的視点でイノベーションを生み出していく新規事業と位置づけ、育成・強化を図るため、「ヘルスケア」セグメントから「その他」セグメントへ変更しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しています。